

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|---|--|--|---------------|
| 建物名称 | (仮称)舞鶴上安パーク 新築工事 | 階数 | 地上2F |
| 建設地 | 京都府舞鶴市字上安小字糖ヶ坪4 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 近隣商業地域・準防火地域ノ準工 | 平均居住人員 | XX 人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | XXX 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 物販店, | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2022年5月 予定 | 評価の実施日 | 2021年8月30日 |
| 敷地面積 | 7,707 m ² | 作成者 | (株)日匠設計 森田 恭介 |
| 建築面積 | 2,926 m ² | 確認日 | 2022年●月●日 |
| 延床面積 | 2,965 m ² | 確認者 | ○○○ |
| 1-2 外観 | | 外観パース等 図を貼り付ける場合は シート内環境を削除してください。 | |
| 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) | | 2-2 ライフサイクルCO ₂ 温暖化影響チャート | |
| <p>BEE = 1.1</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p> | | <p>30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み 76% ③上記+②以外の 76% ④上記+ 76%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p> | |
| 2-3 大項目の評価(レーダーチャート) | | | |
| 2-4 中項目の評価(バーチャート) | | | |
| Q 環境品質 | | | |
| Q のスコア = 2.7 | | | |
| <p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 3.1</p> | <p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.2</p> | <p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 1.7</p> | |
| LR 環境負荷低減性 | | | |
| LR のスコア = 3.4 | | | |
| <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 3.7</p> | <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.3</p> | <p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.1</p> | |
| 3 設計上の配慮事項 | | | |
| 総合 | | その他 | |
| 福祉、近隣住環境に配慮し、利用者、従業員にとって快適に使用できる施設にした。 | | | |
| Q1 室内環境 | Q2 サービス性能 | Q3 室外環境(敷地内) | |
| 吸音、化学物質発生に対する配慮を行った。 | 発電機を設置し不測の事態に備える配慮をした。 | 標準的な配慮を行った。 | |
| LR1 エネルギー | LR2 資源・マテリアル | LR3 敷地外環境 | |
| 太陽光発電システムを設け自然エネルギーの活用を配慮した。 | 内装建材にF★★★★を使用した。 | 緑地を計画し、近隣環境に対して配慮した。 | |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される